

## シカゴにおける聖パトリックデー

シカゴの聖パトリックデーは街をあげてのお祭りです。アイリッシュ・パブには人々があふれ、パレードを見に来る陽気な人々が通りを埋め尽くし、シカゴ川がエメラルド・グリーンに輝く特別な日 - それが聖パトリックデーです。地元の人々も観光客も、緑色のものを身に付け、アイルランドを象徴するシャムロック（クローバーなど）のフェイスペインティングなどをして、アイルランドの文化と伝統を祝います。



### <シカゴ川の染色>

日時：3月15日(土) 10:45 (2014年)

場所：ミシガン・アベニューとワッカー・ドライブの間のシカゴ川

料金：無料

イベントの最初のハイライトはシカゴ川の染色。約20キロの環境にやさしい植物性色素を使ってシカゴ川をエメラルド・グリーンに染めます。色素を川に入れると最初はオレンジ色になります。初めて見る人にとっては「なんでオレンジ？」と心配になるかもしれませんが。でもご心配なく。レプラコーン（帽子をかぶった靴屋の老人の姿をしたアイルランドの伝説の妖精）の魔法で、川の色はみるみるうちに美しいエメラルド・グリーンに変わります。

川の染色は50年以上続くシカゴの伝統です。事の起こりは1961年。シカゴの配管工労働者組合のマネージャーをしていたスティーブン・ベイリー氏のもとに一人の配管工がやってきました。水質汚染規制の一環として川への汚染の流れを観察するために緑の染料を使っていたため、配管工の仕事着はアイルランド・カラーの緑色に染まっていました。その緑を見たベイリー氏はこれで川を染めて聖パトリックデーを祝うことを思いついたのです。今でも組合はこのお祭りのスポンサーを務めています。



### <おすすめの川の染色観覧場所>

10 時前には観覧したい場所に行くのがポイントです。

- ミシガン・アベニュー・ブリッジの東側
- コロンバス・ドライブ・ブリッジの西側
- ミシガン・アベニューとコロンバス・ドライブの間のリバーウォーク（シカゴ川沿いの遊歩道）
- トランプ・インターナショナル・ホテル&タワーのシグネチャー・バー

### <ダウントウン・聖パトリックデー・パレード>

日時：3 月 15 日（土）正午（2014 年スケジュール）

場所：コロンバス・ドライブ沿いのグラント・パーク（バルボー通り - モンロー・ドライブ間）

料金：無料

シカゴの聖パトリックデー・パレードは、アメリカ最大のパレードの一つ。天候にかかわらず、コロンバス・ドライブから出発して、グラント・パークへと 3 時間かけて北へ行進します。

「踊る阿呆に見る阿呆。同じ阿呆なら踊らにや損損」という言葉があります。ただの傍観者ではなく、聖パトリックデーを見るなら緑の物を身に着けて一緒に楽しみましょう。タータンチェックのキルトがある人はぜひ！パレードでは、緑と白、オレンジ色の旗を高々となびかせ、色鮮やかに飾り付けられたフロート（山車）や民族衣装に身を包んだアイリッシュ・ダンサー、マーチングバンド、バグパイプのバンドなどが見ることができます。

### <その他の楽しみ方 2013 年スケジュール版>

- トランプ・インターナショナル・ホテル&タワーシカゴの聖パトリックデー限定ブッフェ

VIP 用に 5 つ星のトランプ・インターナショナル・ホテル&タワーシカゴのバンケットルームからこの日限定の聖・パトリックデー・スペシャル朝食ブッフェをいただきながら 17 階のバンケットルームから染色を観るとするのがお勧めです。

<http://www.trumphotelcollection.com/press/slante-trump-international-hotel-tower-chicago-announces-festive-programming-for-st-patricks-day-revelry>

上記 URL 記載の料金は昨年度のもので、確認する必要があります。朝食ブッフェの内容と



しては、

緑のクロワッサン、スクランブルエッグ、アイリッシュ・ベーコンとソーセージ、ロースト・トマト、マッシュルームのソテー、ブラック&ホワイト・プディング、バチェラーズ・ビーンズ お一人様 \$ 46

昼食buffetの内容としては

緑のブリオッシュ、ポテトと西洋ネギのスープ、コーンビーフ・カービング、キャベツとベーコンの煮込み、コルカノン（茹でたキャベツと牛乳を混ぜ込んだマッシュポテト）か茹でたジャガイモ、サーモンのグリルと西洋ネギ、パールオニオンのクリームソース掛け、シェファード・パイ お一人様 \$ 58

上記に追加料金でアイリッシュ・コーヒーやギネス・スタウト、アイリッシュ・ウイスキーなどのお飲物を注文することもできます。街中が緑に染まるシカゴ。また市民も訪れている人々も、それぞれながしのみどりのアイテムを身にまったり、緑のシャムロックのフェイス・ペインティングをするなど、参加型のお祭りとして、とても楽しめるイベントです。

- **Shoreline Sightseeing St Patrick's Day Cruise**

<http://shorelinesightseeing.com/>

日時：3月15日（土）10時～11:30、2時～3:30

場所：ネイビーピア 600 E Grand Avenue

料金：お一人様\$49

90分のこのクルーズでは、シカゴ川の3本の支流もすべて回り、アイルランド人がシカゴの発展に貢献した逸話や観光スポットをガイドが説明します。船上では、聖パトリックデーの伝統料理のコーンビーフ&キャベツやブレッド・プディングなどのパイキングが用意されます。乾杯はもちろんギネスやアイリッシュ・コーヒーで。

- **Spirit of Chicago St Patrick's Day Cruise**

<聖パトリックデー アフタヌーンランチ・クルーズ>

<http://www.spiritofchicago.com/Chicago/st-patricks-day-cruise>

日時：3月15日（土）3時乗船、クルーズ3時半～5時半

料金：お一人様\$49.90（税別）buffet、ライブ演奏、ダンスなど

乗船場所：ネイビーピア 600 E Grand Avenue

お二人のロマンティックな時間を…という方にはロマンス・パッケージがお勧めです。お一人様\$74.90（税別）で、お二人様のテーブル、シャンパン1本、バラ6本プレゼント、ペアのシャンパン・グラスのお土産付



2 時間半のクルーズではグランド・ブッフエに舌鼓を打ちながら、アメリカで最も美しいダウンタウンのスカイラインをお楽しみいただけます。

#### <アイリッシュ・パブ>

聖パトリックデーには、アイリッシュ・パブでは緑色のビールがふるまわれます。ダウンタウンにあるおすすめアイリッシュ・パブを紹介します。

The Kerryman <http://www.thekerrymanchicago.com/>

Poag Mahone's <http://www.poagmahones.com/>

Timothy O'Toole's <http://www.timothyotooles.com/>

Fado Irish Pub <http://www.fadoirishpub.com/chicago/>

Kitty O'Shea's

<http://www3.hilton.com/en/hotels/illinois/hilton-chicago-CHICHHH/dining/index.html>

Emerald Loop [http://www.emeraldloop.com/Emerald\\_Loop](http://www.emeraldloop.com/Emerald_Loop)

#### <聖パトリックデーを祝うメニューを設定しているレストラン (2013 年度版)>

★The Gage Chicago (24 S Michigan Ave) <http://www.thegagechicago.com/>

マグニフィセントマイル (ミシガン・アベニュー) にあるこのレストランでは、シェファーズ・パイやコーンビーフ&キャベツ、農家のスープなどのアイルランドの伝統家庭料理が楽しめます。川がエメラルド・グリーンになるのを見届けたら、パレードの前の腹ごしらえにぜひどうぞ。

★The Local (198 E Delaware Pl) <http://www.thelocalchicago.com/>

美味しい食事とお酒、陽気な店の雰囲気が揃ったこの店では、聖パトリックデー限定メニューとアイリッシュ・ローバー・バグパイパーズの演奏で、この祝日を祝います。

★Public House (400 N State St) <http://www.publichousechicago.com/>

聖パトリックデーを朝早くから祝いませんか？ホット・パストラミ・スライダーやアイリッシュ・バンガー・フラットブレッドなどの人気メニューで気分を盛り上げましょう。早起きして、さあ緑色のものを身に着けていざお祭りへ！

★Bull & Bear(431 N Wells St) <http://www.bullbearbar.com/>

Public House の姉妹店のこの店では、朝早くから楽しいひと時が始まります。アイリッシュ・ソーダブレッド・フレンチトーストがお勧めの祝日メニュー。もし早起きできなくても大丈夫。魅力的なホリデー・ランチもあります。



O'Leary's Public House (541 N Wells St) <http://www.olearyschicago.com/>

居心地が良く、スタッフも朗らかで、とにかく飲み物のセレクションが多いのがこの店の特徴。聖パトリックデー限定メニューのギネス漬けビーフとアイリッシュ・ラム・シチューは見逃せません。心温まるアイリッシュ料理でお腹を満たしてパレードへ！

<聖パトリックデーにもっと浸るには…>

**The Abbey (3420 W Grace St)**

このアイリッシュ・バー&レストランのオーナーはアイルランドで生まれ育った生粋のアイルランド人。ここ以上にアイルランドを感じる場所はなかなかありません。ここでは、生演奏やアイリッシュ・ダンス、アイリッシュ・ソーセージにギネスと、聖パトリックデーの祝日を3日間にわたって祝うイベントが企画されます。前日にはコンサート、3月16日(土)には**The Abbey**のトロリー(小型バス)に乗ってパレードに参加しませんか?あるいは午後2時からいろいろなミュージシャンやバンドによるケルト音楽のコンサートを聴くのはいかがでしょう。カバーチャージは10ドルです。3月17日(日)は聖パトリックデーの最終日。1時からアイリッシュ音楽とステップダンス、そして前日のバンドによるアンコール演奏と、聖パトリックデーを最高に盛り上げます。詳細は**The Abbey**までお問い合わせください。

**Irish American Heritage Center (4626 N Knox Avenue)**

<http://irish-american.org/>

ここはシカゴにおけるアイルランドの文化の拠点です。アイリッシュ音楽や文学、演劇、アイリッシュ・ダンス、美術など、アイルランドの文化と伝統を、講座やコンサート、博物館などを通じて紹介しています。聖パトリックデーの祝日にもさまざまなイベントが開催されます。詳細は直接お問い合わせください。